令和元年度大阪府がん対策推進委員会

小児・AYA世代のがん対策部会（概要）

１．日　時：令和元年８月９日（木）１７時～

２．場　所：國民會館住友生命ビル　１２階　小ホール

３．議　事：

（１）大阪府小児がん拠点病院における指定要件の設定について

（２）その他

４．委員からの意見要旨と審議結果

（１）大阪府小児がん拠点病院における指定要件の設定について【資料１～２・参考資料】

　　　【意見要旨】

* 生殖機能の温存について、他施設との連携も含めた支援を義務化するということであるが、支援ができるということは、どのように確認するのか？

→ どこの医療機関等と連携するのかという資料を提出いただき確認する。

* 指定後、要件を満たしているかどうかという確認はどのように行うのか？

→ 毎年度、現況報告を提出いただくことになるので、これにより確認する。

* 相談支援センターでの相談について、小児がんは絶対数が少ない。相談員が情報共有できる場等を作ることができれば良いと考える。
* ＡＹＡ世代の診療について、成人の拠点病院と小児の拠点病院との情報共有を行い、役割分担をきっちりする体制整備が必要と考えるが、どのような切り口で分担するのかが難しい。

【審議結果】

* 小児・AYA世代のがん対策部会としては、事務局（案）どおりで了承。

（２）その他

* 重粒子線Ｃで治療を受ける小児がん患者に対する助成制度が開始されたとのことであるが実績はあるのか？

→ 今のところない。

* 妊孕性の温存について府の動きは？

→ 今年度は、生殖医療ネットワークと連携し冊子・チラシを作成

* 昨年行ったアンケートで、兄弟支援や家族支援のため、病院のシャワーブース等の整備についてニーズがあったが、府として支援は可能か？

→ 今後の検討課題と認識している。

* 緩和ケアマップの作成について、まずは、地域の実情を把握する必要がある。